

2023 年度（対象年度：2022） 自己点検・評価シート

基準 27 人権に関する取り組み【独自】

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
2701	ジェンダーギャップの解消に向け、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画(2022年4月1日～2025年3月31日)にもとづき検討を始める。(2701⑤)

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。
人権問題研究委員会が「性のあり方の多様性に関する本学の現状と課題について（上申）」（2018年10月29日）として提起した課題等について、引き続き検討が進むことが望まれる。【留意点】

<【参考】認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「点検・評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価 現状
2701	人権に関する全学的な方針を設定し検証しているか。また、その方針にしたがって理解促進に努めているか。 ①人権学習・啓発および理解醸成 ・学生・教職員への周知・理解 ・本学の人権課題の検証	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために従来と異なる対応・対策を行った場合は、その取り組みがどのように点検項目を満たすのかについても併せて説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
2701 「人権に関する基本方針」「性のあり方の多様性に関する基本指針」を策定し、HP、学生手帳、出講手帳に掲載している。(2701①、②、③)
2701 「龍谷大学 SDGs 宣言」を策定し、HP に掲載している。(2701④)
2701 男女共同参画推進委員会において行動計画の進捗確認をおこなった。(2701⑤)
2701 性の多様性の取り組みへの評価指標「PRIDE 指標」に応募し、本学の状況を確認している（2022年度もシルバー）(2701⑥)
2701 人権問題研究委員会において、全学人権講演会・学部別人権研修会の実施、人権冊子『白色白光』の実施・

配布をおこなっている。(2701⑥、⑦)	
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
項目 No.2701	性的指向・性自認に関する学びを深めるための取り組み（SOGI カフェ、講演会、展示、発信）を継続しておこなっている。(2701⑧)
項目 No.2701	学生の提言、2021 年度に実施した「みんなのキャンパストイレフォーラム」を受けて、学生・教職員が他大学等の視察をおこなった結果、深草新棟に、オールジェンダートイレを設置することが設計案に組み込まれた。(2701⑨)
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.2701	・男女共同参画推進委員会等によるジェンダーギャップ解消の具体的な提言や活動 (2701⑩) ・学生の通称名、教職員の通称名や同性パートナーを配偶者とする制度の整備。(2701⑫、⑬)
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
・学部長会において、ジェンダーギャップ解消について懇談がおこなわれ、ジェンダーと宗教研究センター主催オンラインシンポジウム「仏教×SDGs×ジェンダー」や、宗教部主催の現代的課題と建学の精神プログラムでジェンダーやセクシュアリティに関する講演がおこなわれたものの具体的な進捗はない。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
	ムスリムが日々の礼拝場所に困っている実態があることから、ムスリム等のための礼拝スペースの設置について検討する。
	ジェンダーギャップの解消に向けて、男女共同参画推進委員会等において研修会や具体的な在り方の検討を進める。 ・学生の通称名、教職員の通称名や同性を含む事実婚のパートナーを配偶者とする制度の整備。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
2701	①	2701①人権に関する基本方針(HP).pdf
	②	2701②人権に関する基本方針（学生手帳）.pdf
	③	2701③人権に関する基本方針（出講手帳）.pdf
	④	2701④龍谷大学 SDGs 宣言【ウェブ】
	⑤	2701⑤2022 年度第 2 回男女共同参画委員会.pdf
	⑥	2701⑥2022 年度人権問題研修会一覧.pdf
	⑦	2701⑦人権冊子「白色白光」【ウェブ】
	⑧	2701⑧龍谷大学の SOGI/LGBTQ に関するリソース【ウェブ】
	⑨	2701⑨オールジェンダートイレ.pdf
	⑩	2701⑩男女共同参画.pdf
	⑪	2701⑪「PRIDE 指標 2022」においてシルバーの評価を受けました【ウェブ】
	⑫	2701⑫（部局長会）性別違和を持つ学生等の氏名記載等について.pdf
	⑬	2701⑬【部局長会】性のあり方の多様性に関する本学の現状と課題について（上申）.pdf

II. 評価結果

総評
<p>2701①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の人権を考える理念として「人権に関する基本方針」、「性のあり方の多様性に関する基本指針」を定め、HP等で公表している。また、2021年度に表明した「龍谷大学SDGs宣言」をHPで公表している。 ・「人権問題研究委員会」において、全学研修会・学部別人権研修会を開催するとともに、人権学習誌「白色白光」を発行し、全新入生に配布するとともに、宗教部HPにも公開している。 ・職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティへの取り組みを評価する「PRIDE指標」に応募し、本学の現状の把握とともに性の多様性の向上に努めている（2022年度も前年度に引き続きシルバー評価を獲得）。 <p>以上、人権に関する全学的な方針を定め、その方針に基づき研修会を開催し、人権学習誌を発行・配布するなど学生・教職員の人権に対する理解促進に努めている。また、深草新棟の設計案に、オールジェンダートイレを設置することが組み込まれた。これらの例に見るように、権利向上の提言に留まらず、実際の形につなげたことは高く評価できる。今後とも学内の人権向上に向けた積極的な取り組みに期待したい。</p>
長所・特色《箇条書き》
<ul style="list-style-type: none"> ・性的指向・性自認に関する学びを深めるための取り組み（SOGIカフェ、講演会、展示、発信）を実施した。 ・啓発活動の不断の取り組みの成果として、深草新棟の設計案に、オールジェンダートイレを設置することが組み込まれた。
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進委員会等によるジェンダーギャップ解消の具体的な提言や活動を行う。【留意点】 ・学生の通称名、教職員の通称名や同性パートナーを配偶者とする制度を整備する。【留意点】